

## Gallery PARC

## ダンスユニット

## 双子の未亡人

とりとめなさ、あいまいさを観客と共有したい



「双子の未亡人」公演「ぶこつな霞」  
●Gallery PARC 10月25日(金)～10月27日(日)

「双子の未亡人」は、ともに京都でダンスをやっていた萩野ちよ、佐伯有香が2人で初めて一緒に行ったプロジェクトの名前。「喪服のような衣装を着て踊ったのですが、なんだかしっくり来たのと(笑)、覚えてもらいやすいから、ずっと使ってるんです」(萩野)。ダンスには振付がつきものだが、2人はその型にはまることなく、観客と場所という環境に応じてコトを起し、場を変化させる。フランスで公演した「OFURO」は、野外に露天風呂をつくり、そこで観客が寛ぎ、肝心のふたりはどこかに散歩に行ってしまうという不思議な作品だった。何か起こるか予想もつかない。「発想のとりとめなさを利用した作品づくりで、観客を引込みたい」(佐伯)。

Gallery PARCでの初めてのパフォーマンスは、音楽とのコラボレーションによる3つの作品を構想中。「日常を振り返ってみて、わたしたちの気持ちやまわりの状況って、クリアなことよりも曖昧なことの方が多い。それをそのまま動きに出して、観客と共有したい。音みたいなきず、動きの質感をイメージしています。公演タイトルの「ぶこつな霞」は、とどまらない形や、あるようでない形の意を込めています」(佐伯)。「わたしの踊る作品のひとつでは、身体に直接的に響くドラマを使って、イメージと動きがフィットしたパフォーマンスを見せたい」(萩野)。



「Groundless-ground(s)」(2011年 Art Theater dB / 撮影:Sajik Kim)



「オトエホン29」(2011年 UBANGUILD 撮影:Sajik Kim)

## 双子の未亡人

Profile 萩野ちよ・左、佐伯有香・右  
'03年よりユニットとして活動開始。'06「OFURO」滞在製作(仏)、「混浴」(京都)など、劇場、野外、オルタナティブスペースにて演出鬼没に作品を発表。

## ヤマガミユキヒロ

隅田川、六甲山で、キャンバスプロジェクションを公開

2012年、2013年春に Gallery PARCで作品を発表してきた期待のアーティスト、ヤマガミユキヒロが、「すみだ川アートプロジェクト」に参加。アサヒ・アートスクエアを会場に、隅田川に架かる吾妻橋をモチーフとしたキャンバスプロジェクション作品を発表する。本年で4回目を迎える「六甲ミーツ・アート 芸術散歩2013」にも、六甲山にまつわる景色を切り取り、キャンバスプロジェクション作品として展開する予定。



2013年 4月20日～5月5日 Gallery PARC「little trip ヤマガミユキヒロ 展」での展示風景。(撮影:草木貴照)

## Gallery PARC

GRAND MARBLE

## Gallery PARC 2013年後半のスケジュール

～7月7日(日)  
【瓜生祐子展】(絵画)  
2011年にも開催。食べ物と風景の狭間のようなあいまいな景色を描く瓜生祐子の個展。VOCA出品などを含めた作品を展示。

7月9日(火)～7月21日(日)  
【土橋隆弘展】(ガラス)  
滋賀県守山市に工房を構えるガラス職人、土橋隆弘の個展。

7月23日(火)～8月4日(日)  
【京都造形芸術大学主催展】(グループ展)  
大学との連携プログラムによる協力展。学生作品の発表を予定。

8月6日(火)～8月18日(日)  
【YKBX展】(イラストレーション)  
ポスターやオメガ「THE END」(関連記事P9)のイラストレーションを手掛けるYKBXの展覧会。

Gallery PARCでは、学生や若いクリエイターへの発表場所の提供や広報活動の支援をはじめ、アート・工芸・デザイン・写真・映像・パフォーマンスなどの展覧会やワークショップの開催を通じ、京都の文化の継承と創造に向け、様々な支援に取り組んでまいります。

8月20日(火)～9月1日(日)  
【新展】(グループ展)  
京都造形芸術大学の卒業生を中心としたグループ展。3回目となる今回はコラボレーションをテーマに異なるジャンルの若い作家が作品制作。

9月17日(火)～9月29日(日)  
【KYOTO EXPO 2013 関連写真展】(写真)  
本年で3回目となるKEXのプレイベントとして京都をテーマとした写真による展覧会を開催。

10月25日(金)～10月27日(日)  
【双子の未亡人公演：ぶこつな霞】(ダンス)  
京都を拠点に活動するコンテンポラリーダンスユニット「双子の未亡人」による公演。10月25日～27日の3日公演予定。(上記参照)

詳しいスケジュールはWEB参照  
※展覧会のタイトルはいずれも仮です。また、内容・日時などは予告なく変更する場合がございます。

|                 |            |      |
|-----------------|------------|------|
| 御池通             | 地下鉄京都市役所前駅 | 三條通  |
| ル・グランマールカフェ     | クラッセ       |      |
| 2F Gallery PARC |            |      |
| タリズ             | ●1928ビル    |      |
| コヒビ             |            |      |
|                 | 御池通        | 河原町通 |
|                 | 寺町通        |      |
|                 |            | 四条通  |

京都市中京区弁慶石町48(三条通御幸町西北角)三条ありもとビル  
「ル・グランマール カフェ クラッセ」2F  
Tel・Fax. 075-231-0706 11:00～19:00 月曜休  
<http://www.galleryparc.com/>

## Trend News

## ANREALAGE

世界が注目するクリエイション——鑑賞できる服、着られるアート

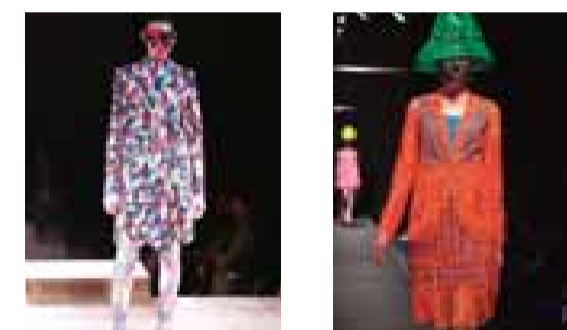
骨組みでできた服、光に反応して色を変える服…。デザイナー、森永邦彦が2003年に設立したブランド ANREALAGE (アンリアルエイジ)の作品は、オブジェのような独創性がありつつ「身につけられる服」であることが両立する。「着られる服であることは大切です。ファッションは産業に帰するもの。ファッションデザインはもっともアートに近い所に位置しながら、社会との関わり、生活者との関わり、産業との関わりという役割があるということを忘れてはいけません。その中において、私たちは洋服における実験を繰り返します。その「実験」は、とくに素材のユニークさに印象的だ。「ANREALAGEでは洋服ではない他の分野で使われている新しい技術なるべく使うようしています。今の時代は、鉄、糸、針、を使わなくても洋服がつくれる時代です。その時代にあった技術を取り入れて行く事も服づくりにおいては重要だと思っています。100年以上変わっていない服づくりの「道具」を変えない限り、新しい洋服は生まれません。建築やプロダクトではあたりまえの技術の3Dソフトを使ってデザインをしたり、レーザーカットの技術を使ってみたり。色が変わる化学分子も取り入れています。それらはすべてがファッションだという想いをもっています。アートなのか、ファッションなのか? そのふたつの領域を超えてゆく可能性を、ANREALAGEは見据えている。「ファッションにおける“着用する”以外の価値、アートにおける“鑑賞する”以外の価値、両者が互いの領域を犯し合うような、タブーに挑む切り口は必要だと思います」。



2013年秋冬コレクション「COLOR」より、光を浴びて色が変化する服。



2010年秋冬コレクション「WIDESHORTSLIMLONG」より、縦横に歪められたマネキンのためのドレス。人が着るとその体型の差異がデザインとして成り立つ。



服のかたちを追求した。2011年秋冬コレクション「LOW」より、低解像度なドレス。

2013年春夏コレクションより、骨格をテーマにした「BONE」より、レーザーカットドレス。

## 森永邦彦

profile ANREALAGEデザイナー。1980年東京都生まれ。早稲田大学、バンタンデザイン研究所卒業。03年、アンリアルエイジを設立。05年、ニューヨークの新人デザイナーコンテスト「GEN ART 2005」でアンギャルド大賞を受賞。11年、第29回毎日ファッション大賞新人賞、資生堂奨励賞受賞。



## Music Pick up

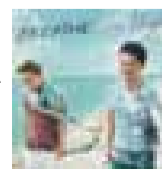
## BREATHE (ブリーズ)

バワフルさとメロウさのハーモニーで聴かせる男性デュオ



[CD+DVD]TYPE A ¥1,890(税込)  
RZCD-59385/B

映画「サンコレンジャー」主題歌でもあるシングル「So High(ソウ・ハイ)」は、[CD+DVD]2形態。[CD]形態の3形態。  
[DVD]には、オリジナルPVなどを収録。



## TOUR SCHEDULE

★7/28(日)大阪:UMEDA CLUB QUATTRO ★8/10(土)静岡:SOUND SHOWER ark  
★8/16(金)新潟:Live Hall GOLDENPIGS RED STAGE ★8/18(日)金沢:AZ  
★8/23(金)仙台:darwin ★8/31(土)京都:KYOTO MUSE ★9/8(日)札幌:COLONY  
★9/14(土)横浜:F.A.D YOKOHAMA ★9/21(土)名古屋:Electric LadyLand  
★9/22(日)岡山:liveshouse IMAGE ★9/28(土)熊本:DRUM Be-9 V1  
★9/29(日)福岡:イムズホール ※詳細はオフィシャルWEBサイトを参照ください

6月にリリースされたシングル「So high」。青空の下で疾走するような爽快なサウンドに乗って、男性デュオ BREATHEの歌声がタイトル通り心を高揚させてくれる。ふたりは2010年「EXILE Presents Vocal Battle Audition2〜夢を持った若者たちへ〜」で出会い、ユニットを結成。「保育園の送迎のクルマの中で Bizeを聴いていた。兄貴の影響でロックが好き」という多田和也はハイトーンで力強い声、一方の宮田慧は声の柔らかさ繊細さで包み込む。「大学まで野球一筋。卒業後ヴォイストレーニングを受けたのをきっかけに、プロを目指しました」と、声質だけでなくキャラクターも対照的な2人。「ライブの前、僕は静かに集中していたタイプだけど…」(宮田)、「僕は動きながら、ナチュラルに入る方」(多田)。それがいったん歌い出すや、声の違いがハーモニーの厚さとなって、オーディエンスに深い印象を与える。ユニット名 BREATHE(ブリーズ)は、「息をする」という意味。「呼吸するように歌う…歌が命、というメッセージをもらったようで、覚悟を感じました。声に対して、もっとストイックになりたい」(宮田)、「人生かけて歌に取り組んでいかないと…いいプレッシャーです」(多田)。

2013年夏、初の全国ツアーを行う。「MCも含め、「伝える」ということを、より意識するようになりました」(宮田)。「デビュー以来、経験の中で成長している実感ががあります」(多田)。この夏、So Highな BREATHEから、目が離せない。

profile 多田和也(た다가ずや):左(1988年、大阪府出身)、宮田慧(みやたけし):右(1984年、神奈川県出身) 2010年「EXILE Presents Vocal Battle Audition2〜夢を持った若者たちへ〜」ファイナリストの2人、宮田慧・多田和也からなるユニット、2011年12月2日デビューCDリリース。 <http://breathe-4ch.jp/>